

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和２年度 第1回たかまつ創生総合戦略推進懇談会
開 催 日 時	令和２年９月１日（火）１８時３０分～２０時２０分
開 催 場 所	高松市役所防災合同庁舎３階 ３０１会議室
議 題	(１) 会長・副会長の選任について (２) 地方創生関係交付金等に関する効果検証について (３) たかまつ創生総合戦略に関する効果検証について (４) その他
公開の区分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員 (１１名)	佃会長、野田副会長、大川委員、國村委員、久保委員、条井委員、小西委員、田口委員、土井委員、西森委員、松林委員、井手下オブザーバー
傍 聴 者	２人 （定員１０人）
担当課及び 連 絡 先	政策課 ８３９-２１３５

会議の経過及び結果

(１) 会長・副会長の選任について

たかまつ創生総合戦略推進懇談会設置要綱第５条第２項の規定に基づき、委員の互選により会長が、会長指名により副会長が選任された。

会長 佃昌道委員 副会長 野田法子委員

(２) 地方創生関係交付金等に関する効果検証について

事務局から、地方創生関係交付金等を活用した事業について、各委員からの質問への回答を中心に説明し、効果検証を実施した。

推進交付金対象事業No.１：「たかまつ移住応援隊」を軸とした事業展開による移住促進事業

主な意見

(委員)

K P I に移住者を設定しているが、実際に移住者として転入した人と一般的に転入した人との振り分けは、どのようなものなのか。

(事務局)

移住者と転入者の定義については定められてはいないが、香川県では、転勤、進学といった一時的な転入者以外を移住者として捉えている。

また、K P I の転入者数は、移住者を含む転入者を、移住世帯数は、任意のアンケート等で把握した移住世帯を対象としている。

(委員)

移住者の中で転出した人がいるかどうか把握しているか。その理由に、人を呼び込むためのヒントがあるのではないか。

(事務局)

転出者が移住者かどうかを把握することは難しいため、できていない。

(委員)

地域おこし協力隊のこれまでの受入れの人数や隊の活動の成果、定着率を含め、どのように総括しているのか伺いたい。

また、今後の受け入れの人数や目標について考えを聞きたい。高松市は、他の市と比べると受け入れる人数が少ないのではないかと思う。次年度の活動や人数についてどういう考えがあるのか。

(事務局)

担当課が欠席のため、後日回答する。

(後日回答分)

本市において、平成 27 年度から現在まで 10 名の地域おこし協力隊員を配置してきた。現在は、3 名の隊員が活動しており、うち 2 名は、活動 3 年目である。

一方、退任した隊員は 7 名で、うち 3 名が任期の 3 年を満了し、引き続き市内に留まり活動している。実際の活動の場における隊員のイメージと活動内容のズレなど、隊員の抱える課題への対処やサポートが重要であると認識している。

隊員の人数については、現隊員の配置を維持したいと考えている。

効果検証

(会長)

本事業は有効であったと評価してよろしいか。

(各委員)
了承。

推進交付金対象事業No.2：「高松盆栽の郷」構想を中心とした盆栽と花き文化の振興対策

主な意見

(委員)
(事務局の説明を聞いて) 今後、盆栽後継者等の問題も踏まえながら、今後の計画を立てていただきたいと思う。

(委員)
別添3の回答に10月に『高松盆栽の郷フェスタ』を開催するとあるが、これは予定どおり開催されるのか？

(事務局)
コロナ禍ということで、事業内容を見直し、オンラインイベントを中心に開催するというので、計画が進んでいる。

(委員)
コロナということで大変だと思う。
引き続き、海外展開を進めていくところだと思うが、JETROにおいてもジャパンモールという販売プロジェクトを行っているので、そのようなものも活用しながら、事業を進めていっていただきたい。

効果検証

(会長)
本事業は有効であったと評価してよろしいか。

(各委員)
了承。

推進交付金対象事業No.3：共生社会ホストタウン登録を契機としたユニバーサルデザインのまちづくり推進事業

効果検証

(会長)
本事業は有効であったと評価してよろしいか。

(各委員)
了承。

応援税制対象事業No.1：こども未来館わくわく体験事業

主な意見

(委員)
出生率ばかりに目を奪われると問題の本質を見誤ると考える。出生率は、15～49歳の女性が何人の子供を産んだかということだが、分母となる女性の数が減少すると出生率は上がる。子育て世代の女性が増えないと子供の数は減ってしまうので、ぜひ高松においても子育て世代の女性が来やすく、住みや

すくすることを考えてほしい。K P I は下がるかもしれないが、結果子どもの数は増えていくということになる。ぜひその辺りを考えてほしい。

効果検証

(会長)

本事業は有効ということでよろしいか。

(各委員)

了承。

**応援税制対象事業No.2：サンポート高松トライアスロン大会
開催事業**

効果検証

(会長)

本事業は有効ということでよろしいか。

(各委員)

了承。

**応援税制対象事業No.3：高松産ごじまん品6次産業化等支援
事業**

効果検証

(会長)

本事業は有効ということでよろしいか。

(各委員)

了承。

(会長)

新型コロナウイルス感染症の影響で、オンラインでの開催ということになり、答えにくい場面もあったかと思うが、議題2に関しては、すべて有効ということで報告させていただく。

皆さんからの質問や意見などを踏まえて、今後も適切なK P Iを設定していけるよう、引き続きよろしくお願いします。

(2) たかまつ創生総合戦略に関する効果検証について

事務局から、たかまつ創生総合戦略の効果検証について、事前に質問・意見のあった事業のうち、さらに事業数を6事業に絞り内容について説明した。

※各委員へ総合戦略掲載の47施策のうち令和元年度のK P Iの実績数値が令和元年度の目標値の90%を下回った15施策に対する意見等聴取書類を事前送付し、質問・意見を取りまとめて事前送付している。

(施策名：中小企業等の育成と振興)

主な意見

(委員)

Web開催は、効果が薄れるという意見があるが、少人数などのきめ細やかな対応をしながら、少しWeb開催へ比重をかけ、現状を続けていくことが良いのではないかと思う。

(委員)

高松市が中小企業に貸し付けを行うというのは、商工会議所に対して予算を付けているということか？

高松市が中小企業を育成するというのがいまいちピンとこない。

(事務局)

この事業は、市はどちらかというと裏方の立ち位置で商工会議所へ補助し、実際の講習については商工会議所の方で開催しているという事業となっている。

(会長)

事業計画については、今の説明ということで、了解頂けたと思う。

(施策名：特産品の育成・振興)

主な意見

なし

(施策名：観光情報の効果的発信)

主な意見

なし

(施策名：子育てと仕事の両立支援)

主な意見

(委員)

子育てと仕事の両立ということで、ダブルケアの問題も深刻である。

出生率の話も出たが、仕事を続けていく、介護の負担を軽減するなどが実現できなければ、出生率もなかなか上がってこないというところがあると思う。

安心して子供を育てられる場所をたくさん作ることで、仕事がしやすく、介護もしやすく、子育てもできるという環境が作られると思う。

(委員)

資料に、保育士の増加と受入枠を増やすと書かれているが、具体的にどのようなことを考えているか。

(事務局)

保育士の確保については、平成30年度から本年度まで緊

急対策事業ということで、まず潜在保育士に対して、香川県の就職準備金を活用した場合、必要に応じて市からも補助を行う事業をしている。

また、新卒で就職する方へ3回に分けて助成を行っている。

県外から教育実習で来られる方へ旅費の助成を行っている。

保育士を確保した場合に、事業主に対して家賃補助を行っている。

保育士確保については、以上4つの事業を行っている。

(委員)

高松市の幼年人口が各地にどれくらいいるか、それに対して、それぞれの場所における収容人数がどれくらいかをSEに分析させた。家の近くの状況がどのようになっているかなど、ぜひ参考にさせていただきたい。

(施策名：家庭及び地域の教育力向上の推進)

主な意見

(委員)

小学校が統廃合されて、地域からこどもの姿が見えなくなったという声をよく耳にする。こどもの姿が見えなくなっているということは、子どもに対して注意を払ったり、注意をしてくれる人が少なくなっているという風に思う。

地域で子どもが参加できるような集まりやすいイベントを開催していただけないか。

(事務局)

地域で集まりやすい小さなイベントというのは、まさにこの子どもを中心とした地域交流事業である。今年はコロナの影響で屋外活動などが十分にできていない。

また、地域でのこどもの姿が見えないという意見があったが、まさにその通りで地域ごとの祭りなどではその影響が顕著である。

地域の連携なども踏まえて、イベント開催など今後何らかの対策を考えていこうと思っている。

(施策名：コミュニティ活動の支援)

主な意見

(委員)

コミュニティプランの見直しが進まないのは、行政のコミュニティ協議会に対する指導不足である。

コミュニティの現状をもう少し把握してほしい。地域だけで活動を行うことは難しい。行政の力をもっと借りたいし、指導していただければと思う。

(事務局)

委員の発言のとおり、行政のコミュニティプラン見直しに対する指導不足な部分があると思う。

プランの見直しを、地域と一緒に頑張って取り組んでいきたい。

(会長)

市については、今日の意見を反映させながら今後に広げていただきたいと思う。

(5) その他について

(事務局)

今年度予定しているたかまつ創生総合戦略推進懇談会は、これで終了となる。懇談会での意見は今後の事業の円滑や推進や見直し等を検討する際の参考とさせていただく。

以上をもって、本日の会議を終了する。

(閉会)